

## TOの心得 / 各チームの皆様へ

① テーブル・オフィシャルズは、審判の補佐をするものであるが、審判とともに規則に従ってゲームを公正かつ円滑に進行させるという重要な役割がある

② テーブル・オフィシャルズどうしがお互いにゲームの進行を声に出して確認しあうことが大切であり、このような心の触れ合いを持ちながら、ゲーム中はいつも審判と目を合わせ、審判に注目することを心がけなければならない。

③ テーブル・オフィシャルズは、規則の正しい理解をより深めることを常に心がける努力が大切である。

④ テーブル・オフィシャルズは、形で示すだけではなく、心をこめて行う動作や合図が大切である。  
テーブル・オフィシャルズの役割は、一人一人が仕事の目的意識を自覚することによって達成されるものである。

⑤ テーブル・オフィシャルズと審判との間の対話や連絡のほとんどはシグナルや合図器具によって行われるのであるから、「合図器具の鳴らし方」や「シグナルのタイミング」などを研究して表現の工夫をする努力をしなければならない。  
合図をしただけで自分の仕事が果たされていると思うのは間違いである。  
審判と心を通わせるところに、ゲームを円滑に進行させ、テーブル・オフィシャルズの本当の意味があることを忘れてはならない。

⑥ ゲームはプレイヤー、チーム・ベンチ、審判そしてテーブル・オフィシャルズがお互いに協力して築き上げるものである。  
テーブル・オフィシャルズはプレイヤーやコーチ、あるいは審判の気持ちになって、素晴らしいゲームにするために最大の努力をほらい、緊張感を持ち続けるようにならない。

声を掛け合いながら行うことが大切。(全員が大きく声を出そう。「ファール白4番。」、「白タイムアウト」、「白4番シュート、カウント、白15点目」、チームファール3回目、次4(フォー)ファールになるよ。)4人で協力しておこなう。違う役割も出来るようにする。わからないことは、審判に確認する。経験豊富な子が練習試合で後ろについて教えてあげる。経験豊富な選手を増やすことを目的とする。

# TOチェック表 / 判定用紙

(下記のチェック欄に「○」または「×」を記入)

日付/チーム名		平成 年 月 日 練習試合・( ) 大会・( )		チームコーチ チェック記入欄				
淡 ( ) VS 濃 ( )				1Q	2Q	3Q	4Q	延長
No.	S	重点項目	項目					
1	タイマー	☆	1ゲーム通して 声をかけあって操作している。					
2		☆	スコアラーと協力して得点を声を出して確認している。					
3			ゲーム前の任務(用具・器具の点検、ゲーム開始前の合図)ができる					
4		☆	審判の笛・挙げていてを見て、ストップ・スタートを操作している。					
5		☆	笛が鳴った瞬間にタイマーを止められている。					
6			クォーターの終わりまで集中している。 カウントダウンの声出し。					
7			クォーターの終わりの後、すぐにクォータータイムを計っている(1分・5分等)					
8		☠	自分の判断で止めたり動かしたりしている。					
1	30秒タイマー	☆	1ゲーム通して 声をかけあって操作している。					
2		☆	相手がしっかりと 保持したらリセットをしている。					
3			シュートが、リングに触れ(リセット)の後、保持してから、スタートしている。					
4			シュートが、入ったあと、スローインのボールを保持してから、スタートしている。					
5			ルーズボールでは、リセットしないで計り続ける。					
6			クォーターの終わりまで集中している。(10秒/30秒)を切ったら、カウントダウンの声出し。					
7			アウト・オブ・バウンズになっても、リセットしない。					
8		☠	焦ってリセットをかけてしまう時がある。					
1	スコアラー	☆	1ゲーム通して 声をかけあって記入している。					
2		☆	タイマーと連携して、得点を確認している。(書いているときは流れが分からないので、確認し合う)					
3		☆	アシスタントスコアラーと連携して、ファール数を確認している。					
4			シュートを打つ前のボールを保持している番号が分かっている。入れたらすぐ記入できる。					
5			審判の合図をよく見て確認して記入できる。					
6			チーム4ファール・個人5ファールの場合、事前に教えている。					
7			間違っって消しゴムを使用する。 ミスの原因になります。					
8		☠	自分の判断で、先に記載する。					
1	アシスタント・スコアラー	☆	1ゲーム通して 声をかけあって記入している。					
2		☆	アシスタントスコアラーのシートを活用して、スコアラーを助けてあげる。(アシスタントの役割)					
3		☆	記載する前に、個人ファールの器具を出す。声を出しながら、何番か、忘れないようにする。出し終わったら記入する。					
4			審判の合図をよく見て、スコアラーと確認し合う。					
5			チームファールの積み器具を把握し合う。スコアラーは忘れていたかもしれません。					
6			スコアラーと同じ番号をアシスコ用紙に記載する。 あくまでも、メモの役割です。					
7			スローインの矢印器具をスコアラーと協力しておこなっている。					
8		☠	自分の判断で、先に記載する。					
1	審判	☆	TOの選手をOKサインを見てくれているか。					
2			クォーターごとに、スコアシートを確認しているか。					
3		☆	ファールの伝達は、番号をしっかりと発生してくれているか。					